

第 4 回日・ASEAN 情報セキュリティ政策会議サマリーレコード概要

- 第 4 回日・ASEAN 情報セキュリティ政策会議を 2011 年 11 月 21 日及び 22 日に開催。
- マグリン・デニス・デクルーズ・マレーシア情報通信文化省副大臣が開会の挨拶。東京大学林教授とマレーシア情報通信文化省・マズマレク局長が議長を務めた。両議長は国際化された企業活動における情報セキュリティ戦略の重要性及びサイバー攻撃の高度化に対応した情報セキュリティ対策の必要性を強調。
- 日本及び ASEAN 各国から情報セキュリティ政策の進捗報告等について発表及び意見交換を行った。重要な課題としては、一層の連携の強化等があげられた。日・ASEAN が共同して実施した取組のレビューを実施し、成果を確認するとともに、今後、議論を進めることを合意。
- 意識啓発について、本年 3 月に合意した「情報セキュリティ意識啓発イニシアティブ」の具体化に向けて 2012 年から実施することとした日・ASEAN 共同の意識啓発の取組の実現を促進するため、以下の事項を含む、日本から ASEAN 各国に対する協力について提案があった。
 - ASEAN 各国の言語に翻訳された、情報セキュリティ意識啓発に関する動画教材及びウェブ教材の提供
 - 日・ASEAN 意識啓発活動のスローガン (Be Aware, Secure and Vigilant) やロゴ (下記参照) の活用
 - 日・ASEAN 意識啓発活動のスローガンやロゴを記載した教材の提供
 - ASEAN 各国の政府職員対象の情報セキュリティ管理に関する研修実施
 - ASEAN 諸国で開催されるセミナー・研修への専門家等の派遣
- ASEAN 各国は、情報セキュリティ意識啓発イニシアティブ具体化のための日本からの提案を活用し、2012 年 10 月第 2 週における意識啓発の取組の実施、ポータルサイト上での意識啓発活動など日・ASEAN で共同した取組を実施することを合意。また、次回の日・ASEAN 情報セキュリティワークショップ (ブルネイ主催) で実施にむけた各国の具体的な取組について議論することで合意。
- 日本から、ASEAN 各国と連携したサイバー攻撃予知に関する研究開発並びに ASEAN 諸国に対する人材育成プログラム及び CSIRT 構築支援プログラムに関する日本の取組の紹介について発表があった。
- 日本産業界から、ASEAN 諸国における情報セキュリティに関する課題や ASEAN 各国政府への要望が提示され、マレーシアの産業界から、インターネットにおけるセキュリティマネジメントシステムに関して報告があった。
- ASEAN 各国は日本の取組を評価するとともに、安全安心な今後、日本政府・産業界と更に連携を深めて取組を進めてゆくことを合意。
- 2011 年 12 月の日・ASEAN 情報通信大臣会合へ本政策会議の成果を報告することに合意。
- 意識啓発の具体的取組をはじめ、情報セキュリティにおける政策を議論するため、ブルネイが次回の日・ASEAN 情報セキュリティワークショップを 2012 年に開催することを表明し、本政策会議はそれを歓迎した。
- 日本が 2012 年 10 月第 2 週に第 5 回日・ASEAN 情報セキュリティ政策会議を日本で開催することを表明し、本政策会議はそれを歓迎した。

